

経費概算見積書 記入要領 (Aコース:6泊7日、10名の招へい計画を例として)

(単位:円)

【必須】 経費申請計画の概要と特徴	<ul style="list-style-type: none"> * 計画の概略 * 高額あるいは低額な費用に関する補足、貸切利用の必要性、自己資金に関して強調したい点、その他日程や行程で考慮、工夫した点など
--------------------------	--

- 【注意】**
- ①契約締結日以前に契約または支出した経費は計上できません。計上した経費は、プログラム終了後30日以内または2019年3月15日のいずれか早い日までに支払いを完了する必要があります。
 - ②第三者への業務の全面的な委託はできません(Q&A問4-2参照)。
 - ③単価が複数ある場合は、単価欄に合計金額、数量欄に「1」を入力し、備考欄に詳細を明記してください。

費目		種別		単価	数量	予定総額	JST支援金	各費目合計	自己資金	備考 (記入例および記載の観点)	
国別渡航費1 * 航空券はエコノミークラスに限る * 国際直行便利用を原則とする	大韓民国	送出国・地域と日本との間の国際航空券費 * 送出国・地域内の移動に係る経費は含まない		50,000	10	500,000				記入例) 韓国・仁川⇄成田 * 経路を記入 * やむを得ず第三国経由となる場合には理由を記載してください。	
		国外日当・査証手数料		3,200	20	64,000				記入例) 入国日、出国日に係る国外日当 * 招へい機関の規程に基づいて計上し、該当日を記入。 * 単価欄に合計金額で記入する場合(表上注意③参照)は内訳を記載。本欄の合計と単価欄の数値があることを確認してください。	
※複数国から招へいする場合は、左側の+ボタンで追加してください。											
渡航費合計		送出国・地域と日本との間の国際航空券費				500,000	500,000	564,000	0		
		国外日当・査証手数料				64,000	64,000		0		
国内旅費	招へい対象者 国内旅費	国内交通費		22,500	10	225,000	225,000	862,680	0	記入例) 空港往復(鉄道)、口湖往復(貸切バス) * 利用経路、手段を記載 * 貸切バス等に自己負担招へい者が同乗する場合は、本事業の招へい者(および実施担当者)分の額となるよう按分して計上	
		国内滞在費 * 15,000円/日/人以下とする	宿泊費	8,500	60	510,000	510,000		0	* 単価欄に合計金額で記入する場合(表上注意③参照)は内訳を記載。本欄の合計と単価欄の数値があることを確認してください。	
			上記以外の費用(※国内日当など)	2,000	50	100,000	100,000		0	* 日当以外の費用がある場合には使途を記載 * 単価欄に合計金額で記入する場合(表上注意③参照)は内訳を記載。本欄の合計と単価欄の数値があることを確認してください。	
	実施主担当者などの国内旅費 * 本申請では2名までとする	国内交通費		1,340	2	2,680	2,680		0	記入例) 空港送迎(鉄道) * 目的、行先記載	
		国内滞在費 * 15,000円/日/人以下とする	宿泊費	8,500	2	17,000	17,000		0	記入例) 口湖(3、4日目水質調査実習) * 行先を記載 * 単価欄に合計金額で記入する場合(表上注意③参照)は内訳を記載。本欄の合計と単価欄の数値があることを確認してください。	
			上記以外の費用(※国内日当など)	2,000	4	8,000	8,000		0	記入例) 口湖(3、4日目水質調査実習) * 行先を記載。また、日当以外の費用がある場合には使途を記載 * 単価欄に合計金額で記入する場合(表上注意③参照)は内訳を記載。本欄の合計と単価欄の数値があることを確認してください。	
プログラム経費	見学科(科学館など) * 本申請では実施主担当者などの帯同は2名までとする		620	11	6,820	6,820	88,820	0	記入例) 国立科学博物館 * 見学先名称を記載		
	懇親会関連費用 * 受入れ機関参加者は10名を上限とする * 開催回数は1回のみとする * 1人あたり単価を3,000円以下とする		2,000	30	60,000	40,000		20,000	記入例) 受入れ機関関係者のうち10名は自己資金により参加 * 特記事項があれば記載		
	その他(実験用消耗品、配付資料など) * 本申請では50,000円を上限とする		42,000	1	42,000	42,000		0	記入例) 実習用水質検査キット * 主な使途を記載		
謝金	通訳者 * JST支援は招へい対象者が高校生である場合又はロシア語圏から招へいする場合に限る				0		0	* 特記事項があれば記載			
	講師・講演者		10,000	1	10,000	10,000	34,000	0	記入例) 2日目午前特別講義(口湖大学教授) * 計画との関連、対象者がわかるように記載 * 単価欄に合計金額で記入する場合は内訳も記載。内訳の合計と単価欄の記入額があることを確認してください。		
	その他(TA、学生アルバイト) * 本申請では2名までとする		1,200	20	24,000	24,000	0	記入例) 3、4日目実習補助 * 計画との関連がわかるように記載。JSTの支援金による負担は1,700円/時間・人。 * 単価欄に合計金額で記入する場合は内訳も記載。本欄の合計と単価欄の数値があることを確認してください。			
その他経費	不課税取引に係る消費税相当額 * 渡航費(航空券、国外日当・査証手数料)や謝金等の免税・不課税に係る消費税相当額を記入 (免税事業者の場合は記入不要)		47,040	1	47,040	47,040	47,040	0	記入例) 渡航費およびTA謝金 * 免税事業者を除き、必ず渡航費(航空券費および国外日当、査証手数料)および不課税取引に該当する謝金の8%を計上 * 免税事業者の場合は本欄にその旨記載		
JST支援金(直接経費)計							1,596,540				
一般管理費(JST支援金事業費の10%以内)							159,654	159,654	159,654		
計							1,776,194	1,756,194	1,756,194	20,000	

予算総額:	1,776,194	JST支援金:	1,756,194	受入れ総人数:	10	受入れ総日数:	10	単価:	12,561.9	円/人・日
-------	-----------	---------	-----------	---------	----	---------	----	-----	----------	-------